

調査研究報告書 No. 198
2026



GX、DX訓練の推進のための

BIM教材及び訓練技法の開発

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

GX、DX訓練の推進のための

BIM教材及び訓練技法の開発

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

はじめに

職業能力開発総合大学校（以下「職業大」という。）では、職業能力開発促進法及び職業能力開発促進法施行規則に定められている職業訓練指導員の養成及びその能力の向上、総合課程並びに職業能力の開発及び向上に関する調査及び研究等を総合的に実施している。

第11次職業能力開発基本計画において、職業大には、産業界や地域のニーズを十分に考慮した公的職業訓練等を実施するために最先端の学識・技術・技能を有し、研究的思考をもって職業訓練指導技法等を開発できる訓練指導員の養成」が求められている。

また、国土交通省では、建設・建築業の生産性向上と業務効率化を促進することを目的としてBIM（Building Information Modeling）の導入を進めている。業界ではBIMを導入することにより、生産性向上や業務効率化が期待できる他、建材等の調達や施工時の二酸化炭素の排出量を算出する等、環境負荷低減が期待できるため、GX・DXを推進する人材が求められている。

そこで、本調査研究では、建設・建築業界におけるBIM活用状況と公共職業能力開発施設におけるBIM訓練の現状をヒアリング等により把握し、その結果を踏まえて、BIM教材と訓練技法を開発し、成果物を活用した職業訓練指導員研修等を通じて普及させることで公共職業能力開発施設における技能習得の向上に寄与できるものとする。

最後に、本調査・開発テーマにご尽力いただいている関係者の方々に感謝の意を表すると共に、末永く職業能力開発の発展のためのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

2026年3月

職業能力開発総合大学校
基盤整備センター
所長 池田 秀作

令和6年度及び7年度
GX、DX訓練の推進のためのBIM教材及び訓練技法の開発研究会 委員名簿
 (順不同・敬称略 所属は令和6年度のもの)

研究会

氏 名	所 属 施 設	役 職 等
よしだ かずひこ 吉田 和彦	大分県立工科短期大学校	指導部長兼教授
あんどう こうき 安藤 弘毅	東京都立城南職業能力開発センター	課長代理
むらおか ひろし 村岡 寛	近畿職業能力開発大学校	
はぎわら む に 萩原 無二	北海道職業能力開発大学校	
ありとう たかゆき 有藤 隆行	兵庫職業能力開発促進センター	
よしみず けんこう 吉水 健剛	職業能力開発総合大学校	
つかざき ひでよ 塚崎 英世	職業能力開発総合大学校	
ふなき ひろゆき 船木 裕之	職業能力開発総合大学校	
ざいつ たくみ 財津 拓三	職業能力開発総合大学校	
いけだ よしひと 池田 義人	職業能力開発総合大学校	

他 民間企業の有識者 1名、

動画制作協力者

氏 名	所 属 施 設
どい かいせい 土井 海聖	職業能力開発総合大学校 建築専攻

事務局

(順不同・敬称略 所属は)

氏名	所属施設	役職
さかお ひでゆき 坂尾 英行	職業能力開発総合大学校 基盤整備センター 開発部	部長
たけち あつし 武市 淳	職業能力開発総合大学校 基盤整備センター 開発部 高度技能者養成訓練開発室	室長
いそべ しんいちろう 磯部 真一郎	職業能力開発総合大学校 基盤整備センター 開発部 高度技能者養成訓練開発室	室長
たかはし やすあき 高橋 靖明	職業能力開発総合大学校 基盤整備センター 開発部 高度技能者養成訓練開発室	開発研究員
あらき ゆうたろう 荒木 勇太郎	職業能力開発総合大学校 基盤整備センター 開発部 高度技能者養成訓練開発室	開発研究員

目次

◎調査研究概要

第1章 調査研究の概要

第1節 背景・目的	11
第2節 調査研究の実施手順及び内容	11
第3節 研究会の開催	12

第2章 事前調査

第1節 事前調査の位置づけ	17
1-1 実施目的	17
1-2 実施項目の全体像	17
第2節 企業ヒアリング	17
2-1 実施概要	17
2-2 実施方法	18
2-3 整理・分析方法	18
2-4 結果	19
2-5 要件候補	21
第3節 指導員アンケート（教材開発前）	21
3-1 実施概要	21
3-2 設問の構成	22
3-3 集計方法	22
3-4 結果	22
3-5 自由記述の整理	27

第3章 教材及び訓練技法の開発

第1節 研究会	31
1-1 体制	31
1-2 開発プロセス	31
第2節 仕様の検討	32
2-1 教材の目的・活用場面	32
2-2 BIM教材の具体的内容	32
第3節 BIM教材を活用した訓練技法の開発	35
3-1 教材を活用した訓練技法の整理	35
3-2 令和8年度研修について	36

第4章 試行実施・評価	
第1節 目的	39
1-1 指導員アンケート（教材公開後）	39
1-2 受講者アンケート（試行実施後）	50
第5章 総括	61
第1節 公開	61
1-1 公開範囲	61
1-2 配布・掲載方法	61
1-3 利用開始条件	62
第2節 評価及び今後取組むべき事項	62
第3節 まとめ・謝辞	62
参考文献	63

巻末資料

- 資料1 企業ヒアリングシート
- 資料2 指導員アンケートシート（教材公開前）
- 資料3 BIM教材を活用した訓練技法の提案
- 資料4 指導員アンケートシート（教材公開後）
- 資料5 受講者アンケートシート（試行実施後）

本調査研究報告書に記載されている会社名、製品およびサービス名は各社の登録商標または商標です。

AutoCADはAutodesk Inc.の登録商標または商標です。

RevitはAutodesk Inc.の登録商標または商標です。

Archicadはグラフィソフト・ジャパン株式会社の登録商標または商標です。

Microsoftはマイクロソフト コーポレーションの登録商標または商標です。